

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分
 【発行日】平成 18 年 2 月 16 日 (2006.2.16)

【公開番号】特開 2003-239761 (P2003-239761A)
 【公開日】平成 15 年 8 月 27 日 (2003.8.27)
 【出願番号】特願 2002-379000 (P2002-379000)
 【国際特許分類】

F 0 2 C 7/28 (2006.01)
F 0 1 D 11/00 (2006.01)
F 0 1 D 25/24 (2006.01)
F 1 6 J 15/08 (2006.01)
F 1 6 J 15/16 (2006.01)

【F I】

F 0 2 C	7/28	C
F 0 1 D	11/00	
F 0 1 D	25/24	G
F 0 1 D	25/24	P
F 0 1 D	25/24	R
F 1 6 J	15/08	H
F 1 6 J	15/16	Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 12 月 21 日 (2005.12.21)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 5
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 5】

第 1 段ノズルの作動及びノ又は修理時に、歪みにより弦ヒンジシールとノズル支持リングのシール面との間にギャップが生じる場合があることが判明した。これらのギャップは、環状の内バンドの半径方向内側の高圧領域から高温ガス流路内へ、弦ヒンジシールを通過する漏れを発生させる。言い換えると、弦ヒンジシールの突出部がノズル支持リングのシール面との接触を失うので、弦ヒンジシールは漏れ流を防ぐのに不十分である。

【特許文献 1】米国特許第 6 4 0 2 4 6 6 号